

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
進路選択	2単位 日本語教育能力	日本語教授法Ⅲ	矢端晴美	1年次	秋

授業のキーワード	日本語教師 日本語学習者 模擬授業
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	日本語を実際に教えるためになにが必要か学ぶ。前半では、日本語を学習する人の実像、背景 学習の目的、日本語教師の実像、役割、仕事の内容、待遇、現場の声 について知る。後半では受講生一人一人に教材分析、教案作り、教具の選択、模擬授業を通して、日本語を教えることを体験してもらう。
履修のアドバイス・ 前提科目等	日本語教授法Ⅰ、Ⅱで学んだことを生かし、日本語教師の疑似体験を試してみる。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	日本語教師とは	現場の日本語教師の声から日本語教師の仕事の内容を把握する。	第9講	模 擬 授 業 (4)	10～12課
第2講	日本語学習者とは	多様化する日本語学習者を知る	第10講	模 擬 授 業 (5)	13～15課
第3講	模擬授業時に設定する学習者。	どんな背景、どんな目的で、日本語を学習するか、自分がどんな学習者になるか、決め、その国の言葉、文化を調べ発表する。	第11講	模 擬 授 業 (6)	16～18課
第4講	シラバスデザイン	初級日本語教科書「みんなの日本語初級Ⅰ」の課ごとの文型、語彙、表現を整理分析する。	第12講	模 擬 授 業 (7)	19～21課
第5講	日本語の授業とは	実際の日本語の授業風景をビデオで見る。講師がやってみせる等する中で イメージする。	第13講	模 擬 授 業 (8)	22、23課
第6講	模擬授業(1)	入門、1～3課	第14講	模 擬 授 業 (9)	24、25課
第7講	模擬授業(2)	4～6課	第15講	模擬授業	予備日
第8講	模擬授業(3)	7～9課	評 価 方 法		授業態度30% 模擬授業とそのレポート70%
備 考 (関連する資格・試験等)	日本語教授法Ⅰ、Ⅱを履修した学生に履修してもらいたい。				
使用する教科書 (必ず購入してください)			参 考 文 献		
みんなの日本語初級Ⅰ本冊 スリーエーネットワーク					